

企画総務委員会

令和7年7月25日

1 報告事項

【地域振興部】

(1) 千代田区×中央区アンテナショップスタンプラリーについて 【資料】

(2) デザインマンホールの設置について 【資料】

(3) おくやみコーナー開設について 【資料】

【政策経営部】

(1) 情報リテラシーに関する意見交換会の開催について 【資料】

2 その他

千代田区×中央区アンテナショップスタンプラリーについて

区は、「地方との連携」の一環として、年1回、各地域を代表する食をテーマとしたマルシェを開催している。このうち概ね3年に1度は、連携自治体から希望が多い有楽町駅前広場を会場とし、今年は、これに該当する年である。区民の皆様に楽しみながら各地域を更に知っていただくため、初めての試みとして、中央区が実施するアンテナショップスタンプラリーと連携した事業を実施する。

1 事業概要

主 催 千代田区、中央区

周 知 広報千代田9月20日号、中央区広報9月15日号、
アンテナショップスタンプラリー特設Webサイト、
区内掲示板への掲示、区ホームページ、SNS、東京交通会館ホームページ等

イベント種別

- ① アンテナショップスタンプラリー
- ② 物産展
- ③ 謎解きラリー
- ④ 一押しスイーツ人気投票

スケジュール

- 9月20日（土）広報千代田掲載等周知開始
26日（金）スタンプラリー、謎解きラリー、一押しスイーツ人気投票開始
特設Webサイト公開
27日（土）物産展開催
30日（火）スマホ教室①
10月 7日（火）スマホ教室②
9日（木）スマホ教室③
16日（木）スマホ教室④
23日（木）スタンプラリー、謎解きラリー、一押しスイーツ人気投票終了
スタンプラリー賞品応募締め切り（当日消印有効）



2 事業詳細

(1) アンテナショップスタンプラリー

実施期間 9月26日(金)～10月23日(木)
参加店舗 37店舗(千代田区17店舗、中央区20店舗)
スタンプ デジタル(アプリ「furari」を活用)、紙のハイブリット方式
賞品

- ① 参加賞：3つのエリアで計20店舗以上のスタンプを集めると先着5千名に福井県の塗り箸をプレゼント。
- ② 千代田区賞、中央区賞、東京交通会館賞：3つのエリアそれぞれで7割以上のスタンプを集め、応募すると抽選で6名(各2名)に賞品が当たる。
- ③ アンテナショップ賞：3つのエリアそれぞれで7割以上のスタンプを集め、応募すると抽選で330名に賞品が当たる。

(2) 物産展

実施期間 9月27日(土) 正午から午後6時まで(荒天中止)
会場 有楽町駅前広場
参加店舗 23店舗

(3) 謎解きラリー

実施期間 9月26日(金)～10月23日(木)
参加店舗 27店舗(千代田区12店舗、中央区15店舗)
謎解き デジタル(LINEを活用)のみ

(4) 一押しスイーツ人気投票

実施期間 9月26日(金)～10月23日(木)
参加店舗 31店舗
投票 デジタル(特設Webサイト)のみ
その他 投票結果は、各区のホームページで公表

(区独自) スマホ教室との連携

実施期間 9月30日(火)、10月7日(火)、9日(木)、16日(木)
各回午前10時～正午
会場 千代田区役所4階または6階会議室、和泉橋区民館
募集人数 1回あたり12人

デザインマンホールの設置について

1 目的

デザインマンホール蓋（以下「デザインマンホール」という。）は、路上を彩るご当地コンテンツとして根強い人気を維持している。新たなデザインマンホールを設置することで、新たな区内回遊の推進を図る。

2 経緯

令和 2 年 2 月、明大通り（御茶ノ水駅から徒歩圏内）の歩道上 3 か所に「アトム、ウラン、お茶の水博士」のデザインマンホールを設置するとともに、11 月からアトムの「マンホールカード」を作成し、配布している。

3 概要

(1) デザインマンホールの設置

① デザイン

デザインは、「リラックマ（サンエックス株式会社（本社：神田多町）のキャラクター）」を主に、区名と区の花さくらを組み合わせている。リラックマは、20 歳から 40 歳代の女性にファン層を持ち、令和 3 年からは千代田区観光協会の観光大使として区内イベントとの連携や観光情報発信に寄与しているほか、さくら基金クラウドファンディングでの連携など、区の情報発信にも寄与している。

なお、本デザインは、当該事業者から地域貢献として、無償提供を受けている。



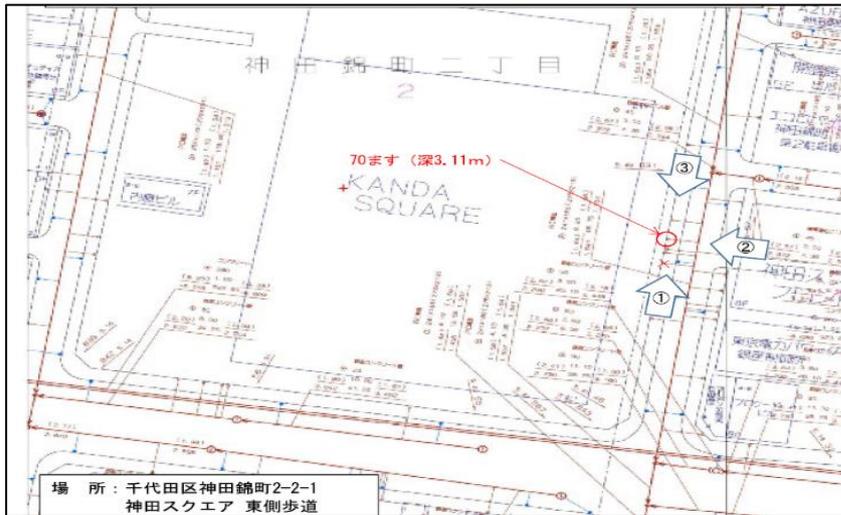
② 設置場所

神田スクエア（神田錦町 2-2-1）東側区道（歩道上※） 1 か所

当該地は、観光資源が少ないオフィス街であるが、周辺には神保町、小川町、大手町等、集客力の高い地域からの回遊誘引を想定している。

※「設置周辺図」参照。

(設置周辺図)



※①から見たマンホール

(2) マンホールカードの作成と配布

デザインマンホールの設置に伴い、新たに「リラックマ」のマンホールカードを作成し、令和8年5月から配布する。配布場所は、再編する。

配布場所	現行	令和8年5月から
千代田区案内所（観光協会） （九段南1-6-17 千代田会館1階）	アトム	リラックマ
アキバ・インフォ （外神田4-14-1 秋葉原UDX 2階）		アトム

(3) スケジュール

令和7年9月	地域（神田公園出張所地区町会連合会）へ報告
12月	マンホール蓋工事完了（予定） 区、都、下水道広報プラットホームのホームページで周知
令和8年3月	マンホールカード完成
5月	マンホールカードを千代田区観光案内所とアキバ・インフォで 配布開始、区、観光協会ホームページ等で周知

おくやみコーナー開設について

1 目的

身近な方を亡くされた際にご遺族の方々が行う行政手続きは多岐にわたっており、複数の窓口で様々な申請を行う負担が生じている。そうしたご遺族の負担を少しでも軽減できるよう、死亡手続きの総合窓口として「おくやみコーナー」を開設する。

2 支援対象

亡くなられた方が千代田区民であった方のご遺族

3 支援内容

(1) 手続きの案内

手続きを一から調べる負担を軽減するため、必要事項を事前にヒアリングし、その情報をもとに必要な手続きや書類、持ち物が何かをご案内する。

(2) 申請書類の事前準備及び受付

同じ情報を何度も記載する負担を軽減するため、ヒアリングした必要事項を事前に申請書類へ記載し、受付の準備をする。また、来庁の際にその申請の受付を行う。

※ご遺族等の自筆が必要な箇所は除く

(3) 証書等の返納受付

関係各課を回る負担を軽減するため、返納できる証書等をおくやみコーナーでお預かりする。

4 利用方式

事前電話予約制による対面方式

5 開設場所

千代田区役所 2 階 区民相談室

6 実施日

毎週火曜日 ※火曜日が祝日の場合は実施しない。

予約枠は下記のとおり。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 9 時 00 分～10 時 00 分 | ② 10 時 30 分～11 時 30 分 |
| ③ 13 時 00 分～14 時 00 分 | ④ 14 時 30 分～15 時 30 分 |

7 開始時期

令和 7 年 8 月 20 日(水)から予約の受付開始

令和 7 年 9 月 2 日(火)から実施

8 区民への周知方法

- ・広報千代田 8 月 20 日号へ掲載
- ・千代田区ホームページへ掲載
- ・区公式 SNS(公式 X(旧ツイッター)・フェイスブック・LINE)へ掲載
- ・死亡届受理の際にもお渡ししている「おくやみガイドブック」へお知らせを掲載するとともに、チラシ(別紙)をお渡しする

「おくやみコーナー」のご案内

亡くなられた方が千代田区民であった方の死亡手続きにかかる総合窓口として「おくやみコーナー」を開設しました。お手続きの支援が必要な方は是非ご利用ください。

なお、事前予約制のため、まずはお電話にて予約をお取りください。

支援内容

● 手続きの案内

※電話予約時に必要事項のヒアリングを行わせていただきます。

● 申請書類の事前準備及び受付

※内容によっては関係各課の窓口へご案内することがあります。

● 証書等の返却の受付



実施日

毎週火曜日 ※火曜日が祝日の場合は実施いたしません。

午前2枠、午後2枠開催

① 9時00分～10時00分

② 10時30分～11時30分

③ 13時00分～14時00分

④ 14時30分～15時30分

受付場所

千代田区役所 2階 区民相談室事務室

お問い合わせ先

ご利用日の**7**営業日前
までにご予約ください。

電話予約やお問い合わせは下記の電話番号まで

区民相談室 おくやみコーナー担当

☎ **03-5211-4169**

※平日 8時30分～17時00分まで

※土曜・日曜・祝日・年末年始は休み

※予約は死亡届提出後10日程度経過した後に行ってください。住民票等に死亡情報が反映されない
と各種手続きが行えないことがございます。

情報リテラシーに関する意見交換会の開催について

1 目的

幅広い世代においてスマートフォンやSNSが普及するとともに、AI技術が急速に進化している中で、現在の社会状況に対する現状認識や課題認識等について、多角的・専門的に意見交換を実施することで、区民生活に及ぼす影響に関して理解を深め、基礎自治体である千代田区が担う役割やAI技術の動向を踏まえた具体的な方策等の検討に生かしていくことを目的とする。

2 テーマ

- (1) 現代社会における「情報」を取り巻く現状認識・課題認識
- (2) AI技術の進化を見据えたデジタル社会におけるリテラシー向上推進方策に関すること
- (3) 効果的な情報発信に関すること
- (4) その他、必要と認める事項に関すること

3 構成員

- ・新庄 秀規 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局長兼活字文化推進会議事務局長
- ・町田 智子 公益財団法人文字・活字文化推進機構 専務理事
- ・山口 真一 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 准教授・主幹研究員
- ・吉田 奨 一般社団法人セーファーインターネット協会 専務理事 ※ゲストスピーカー
- ・樋口 高顕 千代田区長
- ・坂田 融朗 副区長
- ・小林 聡史 副区長 他、関係部長

※ゲストスピーカーとして、プラットフォーム事業者等も今後参加予定

4 今後のスケジュール

開催時期	主なテーマ
第1回 (令和7年7月24日)	・ 開催主旨とスケジュール ・ 現状・課題認識の共有
第2回 (令和7年10月予定)	・ 基礎自治体の役割と区取組の方向性
第3回 (令和8年1月予定)	・ 令和8年度の区取組
第4回 (令和8年3月予定)	・ 今後の展望

※開催時期やテーマについては、今後の状況等を踏まえ変更する可能性あり